

普及現地情報

発信年月日：平成 26 年(2014 年)11 月 18 日

所 属 名：甲賀農産普及課

番 号：C14013

部門分類：150(野菜)

発信者名：宇野、田中

少量土壌培地耕イチゴ栽培現地研修会を開催

甲賀管内では、現在 13 戸(経営体)で 15,174 m²の少量土壌培地耕によるイチゴが栽培されています。厳寒期における順調な生育と収量・品質の向上に向け、今後の管理について指導するため、11 月 6 日に甲賀いちごハウス(甲賀市甲賀町高野)にて集合研修会を開催しました。

今年度は、6 月 2 日、9 月 3 日に続き 3 回目の開催で、「他の施設も見せてもらい、情報交換を図りたい」というベテラン農家や「摘葉や摘芽について現地で学びたい」という新規栽培者の声に応じて今回初めて現地で開催し、7 戸(経営体)から 8 名の参加がありました。

研修会場の甲賀いちごハウスでは、天敵散布や UV-B 照射による病害虫防除技術や炭酸ガス施用技術を導入していること、観光もぎとりを経営に取り入れていることが特徴で、これらについて活発な意見交換が行われました。

今年のイチゴは花芽分化が早く、定植後の気温が高く推移したことから、管内の早いところで研修会時には開花盛期になっており、11 月下旬から収穫が始まる予定です。

気温の下降に伴う施設内の保温やそれに伴う病害発生対策、培養液管理、葉・腋芽管理、白ろう果等の生理障害の発生と対策について説明したところ、参加者は各自施設の状況と照らし合わせながら、盛んに質問されていました。

今後、現地巡回を通じて、安定的に収穫できるよう支援していきます。



【今後の管理を説明する普及指導員】
施設の管理方法についての質問に回答。



【研修会の様子】

参加者はお互いの栽培方法について情報交換し基本技術を確認。